

古文ドリル：「むず」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「むず」の正体

「むず」は「ず」が入っているため打消と誤解されがちですが、**打消ではありません**。「む」の強調形（もとは「むとす」）で、**推量・意志**を中心に「む」と同じ意味を持つ助動詞です。未然形に接続します。

用法	訳	主語・文脈の目安	例
① 推量	～だろう	三人称・自然現象	花咲か むず
② 意志	～しよう	一人称・決意	われ帰ら むず
③ 適当・勧誘	～のがよい／いざ～しよう	相手への助言・誘い	いざ参ら むず
④ 婉曲・仮定	～ような／～としたら	連体「むずる」＋体言／已然「むずれ」＋ば	行か むずる 人
⑤ 【ひっかけ】打消「ず」	～ない	「ず」単独（むずではない）	行か ず

識別の鉄則

- 「ず」だけで単独 → 打消の助動詞「ず」（～ない）
- 未然形＋「むず（むずる・むずれ）」の2音セット → 助動詞「むず」
- むずなら、主語が一人称・決意なら意志、三人称・自然なら推量
- 「むずる」＋体言＝婉曲、「むずれ」＋ば＝仮定

活用：○／○／むず／むずる／むずれ／○（未然・連用・命令なし。連体「むずる」、已然「むずれ」が頻出）。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① まず「ず」単独か「むず」セットか

- 「行か**ず**」＝打消（～ない）。「行か**むず**」＝推量・意志（～だろう／～しよう）。

- 「むとす」に戻せば「むず」。「花咲かむず」→「花咲かむとす」→「咲くだろう」。

コツ② むずの推量・意志は「主語」で決める

- 三人称・自然現象（花・雨・敵など）→ **推量**（～だろう）。
- 一人称・決意（われ・我ら）→ **意志**（～しよう）。

コツ③ 形で婉曲・仮定を見抜く

- 「むずる」+体言 → 婉曲（～ような）。「来むずる人」=来るような人。
- 「むずれ」+ば → 仮定（～としたら）。「降らむずれば」=降るとしたら。

よくある引っかけ

- 「ず」に引きずられて打消と即断しない。**2音セットなら「むず」**。
- 「いぎ」「もろともに」があれば**勧誘**（いっしょに～しよう）。
- 「いかでか…帰らむず」は文脈で**意志**（なんとしても帰ろう）にも**反語**にもなる。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

推量・意志・打消「ず」を、純粋な形で見分ける基本問題。

Q1. 次の傍線部を識別せよ。

花咲かむず。

答え：推量 解説：「咲か」は四段「咲く」の未然形+「むず」。三人称（花）なので推量。「咲くだろう」。

Q2. 次の傍線部を識別せよ。

われ都へ帰ら**むず**。

答え：意志 解説：「帰ら」は四段未然形＋「むず」。主語が一人称「われ」なので意志。「帰ろう」。

Q3. 次の傍線部を識別せよ。

え行**かず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独で未然形「行か」に付く。「むず」ではない。「行けない」。

Q4. 次の傍線部を識別せよ。

雨降ら**むず**。

答え：推量 解説：「降ら」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「降るだろう」。

Q5. 次の傍線部を識別せよ。

必ず仕遂げ**むず**。

答え：意志 解説：「仕遂げ」は下二段未然形＋「むず」。「必ず」という決意なので意志。「成し遂げよう」。

Q6. 次の傍線部を識別せよ。

物も言**はず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独で未然形「言は」に付く打消。「何も言わない」。

Q7. 次の傍線部を識別せよ。

雪解**けむず**。

答え：推量 解説：「解け」は下二段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「解けるだろう」。

Q8. 次の傍線部を識別せよ。

われ討たむず。

答え：意志 解説：「討た」は四段未然形＋「むず」。一人称「われ」の決意で意志。「討とう」。

Q9. 次の傍線部を識別せよ。

つゆ知らず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「つゆ…ず」で「まったく知らない」。

Q10. 次の傍線部を識別せよ。

世は乱れむず。

答え：推量 解説：「乱れ」は下二段未然形＋「むず」。三人称（世）なので推量。「乱れるだろう」。

Q11. 次の傍線部を識別せよ。

出家せむず。

答え：意志 解説：「せ」はサ変「す」の未然形＋「むず」。決意を述べる意志。「出家しよう」。

Q12. 次の傍線部を識別せよ。

え見ず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「え…ず」で不可能。「見られない」。

Q13. 次の傍線部を識別せよ。

鳥鳴かむず。

答え：推量 解説：「鳴か」は四段未然形＋「むず」。三人称（鳥）なので推量。「鳴くだろう」。

Q14. 次の傍線部を識別せよ。

われ文書かむず。

答え：意志 解説：「書か」は四段未然形＋「むず」。一人称「われ」の意志。「手紙を書こう」。

Q15. 次の傍線部を識別せよ。

帰らず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「帰らない」。「帰らむず（帰るだろう）」と混同しない。

Q16. 次の傍線部を識別せよ。

潮満ちむず。

答え：推量 解説：「満ち」は四段「満つ」の未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「満ちるだろう」。

Q17. 次の傍線部を識別せよ。

われ京に上らむず。

答え：意志 解説：「上ら」は四段未然形＋「むず」。一人称「われ」の意志。「上京しよう」。

Q18. 次の傍線部を識別せよ。

名をば知らず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「名を知らない」。

Q19. 次の傍線部を識別せよ。

日暮れむず。

答え：推量 解説：「暮れ」は下二段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「暮れるだろう」。

Q20. 次の傍線部を識別せよ。

われひとり留まらむず。

答え：意志 解説：「留まら」は四段未然形＋「むず」。一人称「われ」の意志。「留まろう」。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

推量・意志に加え、適当・勧誘（いざ／もろともに）を見分ける。

Q21. 次の傍線部を識別せよ。

敵やがて寄せ**むず**。

答え：推量 解説：「寄せ」は下二段未然形＋「むず」。三人称（敵）なので推量。「攻め寄せるだろう」。

Q22. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、参ら**むず**。

答え：適当・勧誘 解説：「いざ」を伴い、相手を誘う勧誘。「さあ、参上しよう」。

Q23. 次の傍線部を識別せよ。

命賭けて守ら**むず**。

答え：意志 解説：「守ら」は四段未然形＋「むず」。決意を込めた意志。「命がけで守ろう」。

Q24. 次の傍線部を識別せよ。

舟沈ま**むず**。

答え：推量 解説：「沈ま」は四段未然形＋「むず」。三人称（舟）なので推量。「沈むだろう」。

Q25. 次の傍線部を識別せよ。

はや帰ら**むず**ぞ、よき。

答え：適当・勧誘 解説：相手への助言で適当。「早く帰るのがよい」。

Q26. 次の傍線部を識別せよ。

一言も違はず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「少しも違わない」。

Q27. 次の傍線部を識別せよ。

火燃え広がらむず。

答え：推量 解説：「広がら」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「燃え広がるだろう」。

Q28. 次の傍線部を識別せよ。

今宵はここに泊まらむず。

答え：意志 解説：「泊まら」は四段未然形＋「むず」。自分の行動の意志。「泊まろう」。

Q29. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに行かむず。

答え：適当・勧誘 解説：「いざ・もろともに」を伴う勧誘。「さあ、いっしょに行こう」。

Q30. 次の傍線部を識別せよ。

月隠れむず。

答え：推量 解説：「隠れ」は下二段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「隠れるだろう」。

Q31. 次の傍線部を識別せよ。

われ、かくと告げむず。

答え：意志 解説：「告げ」は下二段未然形＋「むず」。一人称の意志。「こうだと告げよう」。

Q32. 次の傍線部を識別せよ。

つひに従はず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「最後まで従わない」。

Q33. 次の傍線部を識別せよ。

春やがて来たら**むず**。

答え：推量 解説：「来たら」は四段「来たる」の未然形＋「むず」。三人称（春）なので推量。「来るだろう」。

Q34. 次の傍線部を識別せよ。

しばしここに留まら**むず**、いかに。

答え：適当・勧誘 解説：相手への助言・誘いで適当・勧誘。「しばらく留まるのがよい」。

Q35. 次の傍線部を識別せよ。

物の怪あらはれ**むず**。

答え：推量 解説：「あらはれ」は下二段未然形＋「むず」。三人称なので推量。「現れるだろう」。

Q36. 次の傍線部を識別せよ。

我こそ先に参ら**むず**。

答え：意志 解説：「参ら」は四段未然形＋「むず」。「我こそ」と一人称の意志。「先に参上しよう」。

Q37. 次の傍線部を識別せよ。

え答へ**ず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「え…ず」で「答えられない」。

Q38. 次の傍線部を識別せよ。

堤やがて崩れ**むず**。

答え：推量 解説：「崩れ」は下二段未然形＋「むず」。三人称（堤）なので推量。「崩れるだろう」。

Q39. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、君も来**むず**。

答え： 適当・勧誘 **解説：**「来」はカ変「来」の未然形「こ」＋「むず」。「いざ」を伴う勧誘。「さあ、あなたも来よう（来なさい）」。

Q40. 次の傍線部を識別せよ。

必ずこの恩報い**むず**。

答え： 意志 **解説：**「報い」は上二段「報ゆ」の未然形＋「むず」。決意の意志。「必ず報いよう」。

Q41. 次の傍線部を識別せよ。

風吹か**むず**。

答え： 推量 **解説：**「吹か」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「吹くだろう」。

Q42. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、歌詠ま**むず**。

答え： 適当・勧誘 **解説：**「いざ」を伴う勧誘。「さあ、歌を詠もう」。

Q43. 次の傍線部を識別せよ。

露ばかりも疑は**ず**。

答え： 打消の助動詞「ず」 **解説：**「ず」が単独の打消。「少しも疑わない」。

Q44. 次の傍線部を識別せよ。

雷鳴ら**むず**。

答え： 推量 **解説：**「鳴ら」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「鳴るだろう」。

Q45. 次の傍線部を識別せよ。

われ先立た**むず**。

答え：意志 解説：「先立た」は四段未然形＋「むず」。一人称の意志。「先立とう」。

Q46. 次の傍線部を識別せよ。

はや出で**むず**、遅きはわろし。

答え：適当・勧誘 解説：「出で」は下二段未然形＋「むず」。相手への助言で適当。「早く出るのがよい」。

Q47. 次の傍線部を識別せよ。

われ敵討た**むず**。

答え：意志 解説：「討た」は四段未然形＋「むず」。一人称「われ」の決意で意志。「敵を討とう」。

Q48. 次の傍線部を識別せよ。

露も惜しま**ず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「少しも惜しまない」。

Q49. 次の傍線部を識別せよ。

雲やがて隠れ**むず**。

答え：推量 解説：「隠れ」は下二段未然形＋「むず」。三人称（雲）なので推量。「隠れるだろう」。

Q50. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに眺め**むず**。

答え：適当・勧誘 解説：「眺め」は下二段未然形＋「むず」。「もろともに」を伴う勧誘。「いっしょに眺めよう」。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

連体「むずる」＝婉曲、已然「むずれ」＋ば＝仮定を導入。形で見抜く。

Q51. 次の傍線部を識別せよ。

京へ行か**むずる**人を待つ。

答え：婉曲・仮定 解説：連体形「むずる」＋体言「人」。婉曲。「行くような人」。

Q52. 次の傍線部を識別せよ。

さもあら**むずれば**、用意せよ。

答え：婉曲・仮定 解説：已然形「むずれ」＋ば。仮定。「そうであるとしたら」。

Q53. 次の傍線部を識別せよ。

花やがて散ら**むず**。

答え：推量 解説：「散ら」は四段未然形＋「むず」。三人称（花）なので推量。「散るだろう」。

Q54. 次の傍線部を識別せよ。

われ命を捨て**むず**。

答え：意志 解説：「捨て」は下二段未然形＋「むず」。一人称の決意で意志。「命を捨てよう」。

Q55. 次の傍線部を識別せよ。

え逃れ**ず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「え…ず」で「逃れられない」。

Q56. 次の傍線部を識別せよ。

死な**むずる**身なれば、惜します。

答え：婉曲・假定 解説：連体形「むずる」＋体言「身」。婉曲。「死ぬような身」。「死な」はナ変「死ぬ」の未然形。

Q57. 次の傍線部を識別せよ。

雨降ら**むずれば**、傘用意す。

答え：婉曲・假定 解説：已然形「むずれ」＋ば。假定。「降るとしたら」。

Q58. 次の傍線部を識別せよ。

敵つひに勝た**むず**。

答え：推量 解説：「勝た」は四段未然形＋「むず」。三人称（敵）なので推量。「勝つだろう」。

Q59. 次の傍線部を識別せよ。

いかでか都へ帰ら**むず**。

答え：意志 解説：「帰ら」は四段未然形＋「むず」。決意を込めた意志。「なんとしても都へ帰ろう」。(文脈により「どうして帰ろうか」と反語に読む場合もある)

Q60. 次の傍線部を識別せよ。

物言は**むずる**気色なり。

答え：婉曲・假定 解説：連体形「むずる」＋体言「気色」。婉曲。「物を言いそうな様子」。

Q61. 次の傍線部を識別せよ。

つゆ違はず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「少しも違わない」。

Q62. 次の傍線部を識別せよ。

世の中変はら**むず**。

答え：推量 解説：「変はら」は四段未然形＋「むず」。三人称（世の中）なので推量。「変わるだろう」。

Q63. 次の傍線部を識別せよ。

我こそ君に仕へ**むず**。

答え：意志 解説：「仕へ」は下二段未然形＋「むず」。「我こそ」と一人称の意志。「お仕えしよう」。

Q64. 次の傍線部を識別せよ。

来**むず**る人もなし。

答え：婉曲・假定 解説：連体形「むずる」＋体言「人」。婉曲。「来るような人」。「来」はカ変未然形「こ」。

Q65. 次の傍線部を識別せよ。

浪高く立た**むず**。

答え：推量 解説：「立た」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「立つだろう」。

Q66. 次の傍線部を識別せよ。

われ髪下ろさ**むず**。

答え：意志 解説：「下ろさ」は四段未然形＋「むず」。出家の決意で意志。「髪を下ろそう（出家しよう）」。

Q67. 次の傍線部を識別せよ。

え堪へ**ず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「え…ず」で「堪えられない」。

Q68. 次の傍線部を識別せよ。

鐘やがて鳴ら**むず**。

答え：推量 解説：「鳴ら」は四段未然形＋「むず」。三人称（鐘）なので推量。「鳴るだろう」。

Q69. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに帰ら**むず**。

答え：適当・勧誘 解説：「いざ・もろともに」を伴う勧誘。「さあ、いっしょに帰ろう」。

Q70. 次の傍線部を識別せよ。

さ思は**むず**れば、かく言ふなり。

答え：婉曲・仮定 解説：已然形「むずれ」＋ば。仮定。「そう思うとしたら」。

Q71. 次の傍線部を識別せよ。

雪深く降ら**むず**。

答え：推量 解説：「降ら」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「降るだろう」。

Q72. 次の傍線部を識別せよ。

われみづから申さ**むず**。

答え：意志 解説：「申さ」は四段未然形＋「むず」。一人称「みづから」の意志。「自分から申し上げよう」。

Q73. 次の傍線部を識別せよ。

つひに姿見え**ず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「とうとう姿が見えない」。

Q74. 次の傍線部を識別せよ。

風やがて静まら**むず**。

答え：推量 解説：「静まら」は四段未然形＋「むず」。自然現象なので推量。「静まるだろう」。

Q75. 次の傍線部を識別せよ。

われ必ず参ら**むず**。

答え：意志 解説：「参ら」は四段未然形＋「むず」。「必ず」という一人称の意志。「必ず参上しよう」。

Q76. 次の傍線部を識別せよ。

来**むずる**ことあらば、知らせよ。

答え：婉曲・仮定 解説：連体形「むずる」＋体言「こと」。婉曲（仮定的）。「来るようなことがあれば」。「来」はカ変未然形「こ」。

Q77. 次の傍線部を識別せよ。

人々みな集まら**むず**。

答え：推量 解説：「集まら」は四段未然形＋「むず」。三人称（人々）なので推量。「集まるだろう」。

Q78. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに参ら**むず**。

答え：適当・勧誘 解説：「いざ・もろともに」を伴う勧誘。「さあ、いっしょに参ろう」。

Q79. 次の傍線部を識別せよ。

え言ひ出ださ**ず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「え…ず」で「言い出せない」。

Q80. 次の傍線部を識別せよ。

花咲か**むずれば**、見に出でむ。

答え：婉曲・仮定 解説：已然形「むずれば」＋ば。仮定。「咲くとしたら、見に出かけよう」。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

文脈の長い例文で、推量・意志・適当勧誘・婉曲仮定・打消「ず」を総合的に判断する。

Q81. 次の傍線部を識別せよ。

主上やがて位を去ら**むず**と、人々嘆きあへり。

答え：推量 **解説：**「去ら」は四段未然形+「むず」。三人称（主上）の未来を予測する推量。「お退きになるだろう」。

Q82. 次の傍線部を識別せよ。

われ、いかにもして本意遂げ**むず**。

答え：意志 **解説：**「遂げ」は下二段未然形+「むず」。一人称の強い決意で意志。「なんとしても本意を遂げよう」。

Q83. 次の傍線部を識別せよ。

かかること世にあらず。

答え：打消の助動詞「ず」 **解説：**「ず」が単独の打消。「あら」はラ変未然形。「このようなことは世にない」。

Q84. 次の傍線部を識別せよ。

軍勢ども夜討ちに攻め寄せ**むず**と聞こゆ。

答え：推量 **解説：**「寄せ」は下二段未然形+「むず」。三人称（軍勢）の予測で推量。「攻め寄せるだろう」。

Q85. 次の傍線部を識別せよ。

今は限りと思へば、形見に書き置か**むず**。

答え：意志 **解説：**「置か」は四段未然形+「むず」。一人称の決意で意志。「書き残そう」。

Q86. 次の傍線部を識別せよ。

露の消え**むずる**命を惜しむ。

答え：婉曲・仮定 解説：連体形「むずる」＋体言「命」。婉曲。「消えるような（はかない）命」。

Q87. 次の傍線部を識別せよ。

さらに承引**せず**。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「せ」はサ変未然形、「ず」は単独の打消。「まったく承知しない」。

Q88. 次の傍線部を識別せよ。

潮の満ち**むずれば**、舟出ださむ。

答え：婉曲・仮定 解説：已然形「むずれ」＋ば。仮定。「潮が満ちるとしたら、舟を出そう」。

Q89. 次の傍線部を識別せよ。

いざ給へ、もろともに月見**むず**。

答え：適当・勧誘 解説：「見」は上一段「見る」の未然形＋「むず」。「いざ・もろともに」を伴う勧誘。「いっしょに月を見よう」。

Q90. 次の傍線部を識別せよ。

この子おとなになら**むずる**さま、思ひやらる。

答え：婉曲・仮定 解説：連体形「むずる」＋体言「さま」。婉曲。「成長するような様子」。

Q91. 次の傍線部を識別せよ。

我ら皆ここにて討ち死にせ**むず**。

答え：意志 解説：「せ」はサ変未然形＋「むず」。一人称「我ら」の決意で意志。「討ち死にしよう」。

Q92. 次の傍線部を識別せよ。

敵は今宵こそ寄せ**むず**れ。

答え：推量 **解説：**「寄せ」は下二段未然形、係助詞「こそ」の結びで已然形「むずれ」。三人称（敵）の推量。「攻め寄せるだろう」。

Q93. 次の傍線部を識別せよ。

つゆばかりも心変は**らず**。

答え：打消の助動詞「ず」 **解説：**「ず」が単独の打消。「少しも心変わりしない」。

Q94. 次の傍線部を識別せよ。

命あらば、また逢は**むず**。

答え：意志 **解説：**「逢は」は四段未然形＋「むず」。一人称の意志。「また逢おう」。

Q95. 次の傍線部を識別せよ。

雨やがて降ら**むず**る気色なり。

答え：婉曲・仮定 **解説：**連体形「むずる」＋体言「気色」。婉曲。「降りそうな様子だ」。

Q96. 次の傍線部を識別せよ。

われひとり都に留まら**むず**。

答え：意志 **解説：**「留まら」は四段未然形＋「むず」。一人称「ひとり」の意志。「ひとり留まろう」。

Q97. 次の傍線部を識別せよ。

この国土みな海に沈ま**むず**。

答え：推量 **解説：**「沈ま」は四段未然形＋「むず」。三人称（国土）の予測で推量。「沈むだろう」。

Q98. 次の傍線部を識別せよ。

いかにしても、え**避**らず。

答え：打消の助動詞「ず」 解説：「ず」が単独の打消。「え…ず」で「避けられない」。

Q99. 次の傍線部を識別せよ。

さこそ思は**むず**れ、口には出ださず。

答え：婉曲・假定 解説：係助詞「こそ」の結びで已然形「むずれ」、逆接で下に続く。婉曲・仮定的に「そう思うようなものだが」。文末の「ず」は打消。

Q100. 次の傍線部を識別せよ。

いかにもして都に帰り着か**むず**と念ず。

答え：意志 解説：「着か」は四段未然形＋「むず」。一人称の強い決意で意志。「なんとしても帰り着こう」。

採点振り返り

- **打消「ず」と取り違えた問題**：「ず」が単独か、「むず（むずる・むずれ）」と2音セットかをまず確認。「むとす」に戻れば「むず」。
- **推量と意志を取り違えた問題**：主語が一人称・決意なら意志、三人称・自然現象なら推量。
- **婉曲・假定を落とした問題**：「むずる」＋体言＝婉曲、「むずれ」＋ば＝假定。形で判断。
- 間違えた問題は、傍線部が「ず」か「むず」かに印をつけ、主語を確認して解き直すと定着します。